

県民の安心の
拠り所となる
病院であること

K o h a r u b i y o r i
VOL. 67

こはるびより

愛媛県立中央病院広報誌「小春日和」



4月から、当院で患者さんの看護にあたっている新人看護師です。

ぬくもりのある質の高い看護を提供するために尽力いたしますので、
末永くよろしくお願いいたします。



Index

- P1 新人看護師集合写真
- P2 電子処方せん、はじめました
- P3 料金改定のお知らせ
- P4 診療科紹介「形成外科・顎顔面外科」
- P5 ドクターズカルテ、研修医紹介
- P6 1年次研修医集合写真
医療安全管理部だより No.58
- P7 転入・転出医師（2025.3.16～2025.5.31）
- P8 連携医療機関紹介 ～第38回～

ご自由にお持ち帰り下さい

【発行】愛媛県立中央病院 松山市春日町83番地
TEL:089-947-1111 2025年5月31日発行



愛媛県立中央病院



電子処方せん、はじめました

当院では2025年4月1日より、電子処方せんの発行を開始しました。

また、県内では電子処方せんに対応可能な調剤薬局も拡大しています。電子処方せんの発行を希望される方は、**まずご自身のかかりつけの調剤薬局が電子処方せんに対応可能か確認**してください。対応可能であれば、**診察時に医師・歯科医師へ電子処方せんを希望することをお伝えください**。一部対応不可能な薬剤もありますが、電子署名が可能な医師・歯科医師であれば電子処方せんを発行することができます。

※調剤を受けるためには、マイナンバーカード、または資格確認書 / 健康保険証・引換番号が必要です。

電子処方せんとは、これまで紙で発行していた処方せんを電子化したものです。

「医療機関で患者さんが電子処方せんを選択」し、「医師・歯科医師・薬剤師が患者さんのお薬情報を参照することに対して同意」をすることで、複数の医療機関・薬局にまたがるお薬の情報を医師・歯科医師・薬剤師に共有することができるようになります。医師・歯科医師・薬剤師は、今回処方・調剤する薬と飲み合わせの悪い薬を服用していないかなどを確認できるようになり、薬剤情報にもとづいた医療を受けられるようになります。

これまでは紙だけでやり取り



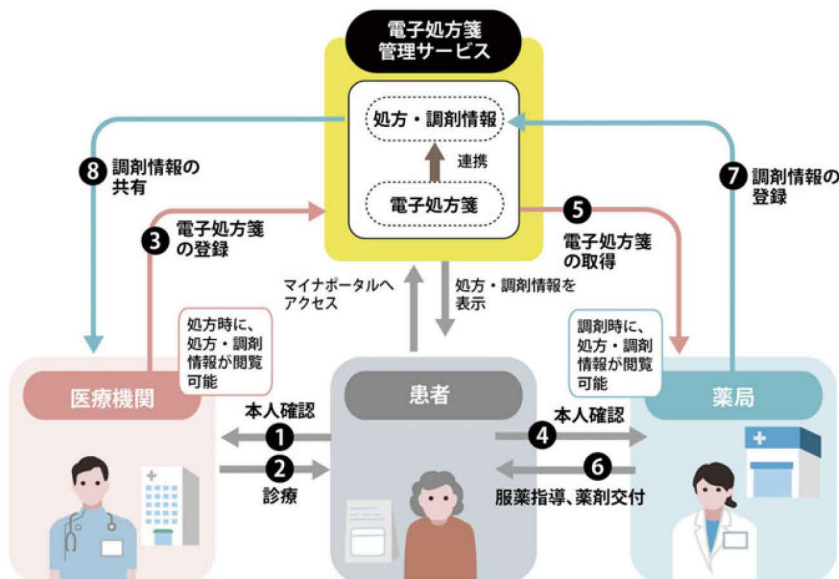
受診した医療機関・薬局のみ、お薬の情報を把握していました。

これからは電子で登録



お薬の情報を電子データで登録し蓄積します。次回受診時に電子処方せん対応施設は、お薬情報の確認ができます。

(出典：厚生労働省 リーフレット)



導入による変化



(出典：広報誌『厚生労働』2023年9月号（発行：日本医療企画）)

電子処方せん管理サービス

電子処方せんの処方・調剤情報は、「電子処方せん管理サービス」というシステムに登録され、電子処方せんに対応した他の医療機関・薬局でもリアルタイムに確認することができるようになります。

電子処方せんが普及していくことで、全国どの医療機関・薬局を訪れても継続的な処方・調剤を受けやすくなり、災害等の非常時にも安心です。結果として、患者さんは今まで以上に安心して薬を受け取ることが可能となります。



料金改定のお知らせ

駐車場料金について(令和7年4月7日から)

駐車場の適正な維持・管理のため、外来患者・入退院時の送迎による

駐車場料金を **6 時間無料**から **6 時間100円**に変更いたします。

ご理解のほどよろしくお願いいたします。



区分	現行	改定後
外来患者	駐車時間 6 時間まで 無料 以後30分50円	駐車時間 6 時間まで 100円 以後30分50円
入院時の送迎	駐車時間当日無料	
手術待機後等の説明	駐車時間当日無料	変更ありません
見舞人	駐車時間1時間まで150円 以後30分50円	変更ありません
その他病院来訪者	駐車時間30分毎150円	変更ありません

その他の料金について(令和7年4月1日から)

▼その他の料金について、主な改定は下表のとおりです。

名称	区分	単位	現行料金(税込)	改定料金(税込)
診断書料	死亡診断書	1 部	3,740円	3,960円
分娩介助料※1	診療日の8:30~17:15まで	1 件	201,000円	230,000円
	上記以外	1 件	226,000円	262,500円
新生児健診料※1	日齢 1	1 回	3,600円	3,700円
新生児介補料	助産に係るもの※1	1 日	7,900円	8,500円
	上記以外のもの	1 日	8,690円	9,350円
衣服貸与料(肌着)	助産に係るもの※1	1 日	110円	150円
	上記以外のもの	1 日	120円	160円
乳房マッサージ料※1		1 回	2,400円	2,500円
施術料	初検料	1 術	3,300円	3,520円
		2 術	3,300円	3,740円
	1 術(はり又は灸)		3,960円	4,070円
	2 術(はり及び灸)		4,510円	4,620円
施きゅう指導料		1 回	1,210円	1,540円
病衣貸出料		1 回	60円	120円
食事提供料		1 回	660円	690円

※1の印がある項目は非課税です。

診療科紹介 形成外科・顎顔面外科



▲形成外科・顎顔面外科集合写真

形成外科は、身体に生じた組織の異常や変形、欠損もしくは整容的な不満足に対し、手術によって機能的・形態的により正常に近づけることで、生活の質（QOL）の向上に貢献する外科系の専門領域です。

形成外科という診療科をご存じでしょうか？眼科や泌尿器科、消化器内科など身体の場所（部位や臓器）別の診療科ではありませんので、聞いたことはあるけれど、どのような病気を担当しているのかよく分からないという方はまだまだ多いと思います。形成外科が登場してから既に半世紀以上過ぎているにも関わらず認知度は低く、今でも「形成外科はどんなことをやっているのですか？」とよく聞かれます。

形成外科は、主に身体の表面の病気やけがを治療し、身体に生じた変形や異常を、手術によって正常に近づけるよう努力をしています。

当科で担当している主な疾患は具体的には以下のようなものがあります。

●けが、きずあと

傷・けが（外傷）、やけど（熱傷）、きずあと（瘢痕）、ケロイド・肥厚性瘢痕、ひきつれ（瘢痕拘縮）、とこずれ（褥瘡）、難治性皮膚潰瘍、顔面骨骨折、鼻骨骨折

●生まれつきの病気

口唇口蓋裂、先天性眼瞼下垂、副耳、耳前瘻孔、臍ヘルニア、多指症、多合趾症

●できもの（腫瘍）

ほくろ、粉瘤、脂肪腫、赤あざ（血管腫）、黒あざ（扁平母斑、太田母斑）、基底細胞癌、扁平上皮癌、他科手術後の組織欠損の再建

●その他

毛巣洞、陥入爪、わきが（腋臭症）

上記はわれわれが治療を行っている病気の一部にすぎません。一見、関連のない病気のようにも見えますが、身体表面に生じた不都合であることは共通しています。これらをできる限り機能的・形態的に正常に近づけるように治療し、皆様の QOL の向上に貢献できるよう、日々の診療に努めております。その結果として、皆様が抱える社会的・精神的な悩みを少しでも和らげることを目標としています。



▲手術の様子



▲レーザーの様子

これからも質の高い医療を心がけてまいります。お困りのことがあれば、ぜひご相談ください。



はじめまして、新たに形成外科部長を拝命した、西建剛（にしけんごう）と申します。

長崎市出身で、熊本大学医学部を卒業しました。その後、長崎大学医学部形成外科へ入局し、当院も含む関連病院をローテーションしたあと、一時退局。民間の中規模病院の部長や国立病院の部長に私立大学の教官、学校法人の産業医、皮膚科クリニックの院長、修正手術を主に行う美容外科医など様々な環境で、ありとあらゆる仕事を経験しました。

医師になってから23年間。顎顔面外科（外傷や咬合不整、外鼻変形、耳介変形）や眼形成外科、頭頸部再建（上・下顎、舌や口腔底）、顔面神経麻痺再建、手外科や小児先天異常の手術など、形成外科領域を幅広く学んできました。

特に、昨今患者さんのニーズの多い眼瞼下垂症や睫毛内反（眼瞼外反）は昨年度200例以上の手術実績を誇ります。

県民の皆様が安心して笑顔で健やかな生活ができるよう、日々頑張ろうと思っておりますので、どうか、よろしくお願いします。



▲国内外の学会に参加し、年3回は全国学会で発表。会場で知り合った達人の先生方の施設を訪れ共同手術を行ったりしています



▲休みの日には仕事を離れ、家族でカヤックを漕いだり、体を動かしています

当院の研修医を紹介します

2年次研修医 ふくだ ももこ 福田 萌々子医師

Resident

仕事以外の過ごし方を教えてください。

普段の仕事以外の時間は、同期とご飯や買い物に行き楽しく過ごしています。休みの日には家族や同期と旅行に行くこともあります。個性豊かな同期に囲まれ、仕事もプライベートも充実しています！

日頃気を付けていることは何ですか？

日頃から体調には気を遣うようにしています。院内では階段を利用する、休日は愛犬の散歩に行くなど軽い運動を行うよう心がけています。

今後の目標は何ですか？

研修医として現場に立ち、気づけば1年が経ちました。まだまだ自分の技術不足や知識不足を感じる日々ですが、より一層気を引き締めて仕事に励みたいと思います。



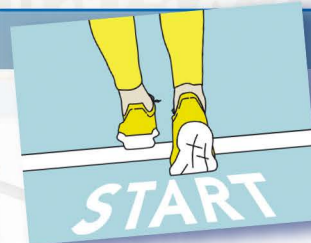
▲シミュレーションルームで手技の練習



▲同期とUSJに行きました！（左から2番目）

令和7年度は、12名の研修医が 当院より医師としての第一歩を踏み出します!!

末永くよろしくお願いいたします。



No.58

医療安全管理部だより

安心して治療を受けていただくためのお願い

当院では、患者さんが安心して治療を受けられるよう、医療スタッフが協力して医療の安全向上に努めています。安全対策として「ミスを防ぐシステムの導入」と「医療スタッフの意識向上」に取り組んでいます。ただ、患者さんやご家族のみなさまのご協力もとても大切です。以下、安心して治療を受けていただくためのお願いです。

① 医師の説明を受けるとき

- ✓ わからないことや気になることは遠慮せず質問してください。
- ✓ 内容を十分に理解した上で、治療や検査を受けるようにしましょう。
- ✓ ご家族と一緒に説明を聞くと、より理解が深まります。

② 病院（医療スタッフ）に伝えてほしいこと

- ✓ 普段飲んでいるお薬や、アレルギーの有無を伝えてください。
- ✓ 治療や検査について疑問があれば、気軽に医療スタッフに相談してください。

③ 他の患者さんとの間違いを防ぐために

- ✓ 受付や検査・処置の際は、フルネームと生年月日をお伝えください。
- ✓ 処方せんや書類を受けるときは、ご自身の名前が正しいことを確認しましょう。



患者さんの安全を守るためには、医療スタッフと患者さんやご家族の協力が欠かせません。いっしょに安心できる環境づくりを進めていきましょう。

私たちの一番の喜びは、患者さんと笑顔を共有できることです。そのためにも、不明点やご心配なことがあれば、どうぞお気軽に医療スタッフへご相談ください。





転入・転出医師 (2025.3.16~2025.5.31)

▶ 転入

所属	氏名	専門
麻酔科	宮内 満里奈	専攻医
産婦人科	門田 麗	専攻医
小児科	亀岡 潤也	専攻医
小児科	田中 悠一郎	小児外科一般
腎臓内科	中城 栄木	専攻医
腎臓内科	平田 彩乃	専攻医
泌尿器科	中西 亮太	泌尿器一般
泌尿器科	堀 克仁	泌尿器一般
泌尿器科	嶋田 祐一郎	専攻医
糖尿病・内分泌内科	宇都宮 裕士	専攻医
消化器内科	碓井 亨	消化器疾患
消化器内科	齋藤 舞	専攻医
消化器外科	佐藤 公一	上部消化管外科、胃癌、食道癌、内視鏡外科
消化器外科	坪井 葵	専攻医
呼吸器内科	齋藤 貴子	専攻医
呼吸器内科	近藤 章敏	専攻医
感染症内科	西野 雄貴	感染症全般、内科一般
血液内科	野村 恭一朗	専攻医
乳腺・内分泌外科	青野 真由子	専攻医
放射線科	岩村 卓明	画像診断全般
放射線科	岡田 加奈子	画像診断一般、腹部画像診断、乳腺画像診断
放射線科	伊藤 彰啓	専攻医
放射線科	山田 鈴晏	専攻医
脳神経内科	久保 仁	内科一般、脳神経内科一般
脳神経外科	日下部 公資	脳血管障害、脳血管内治療、神経内視鏡手術、脳腫瘍、頭部外傷
脳神経外科	安岐 智晴	脳血管障害、脳血管内治療、頭部外傷
脳神経外科	小野 真理	専攻医
循環器内科	黒光 貴俊	専攻医
循環器内科	日野 華子	専攻医
循環器内科	山本 泰輔	専攻医
心臓血管外科	日野 阿斗務	心臓血管外科
整形外科	今井 麻央	整形外科一般
眼科	定成 裕子	白内障、眼科一般
形成外科・顎顔面外科	西 建剛	眼形成外科、顎顔面外科、熱傷
皮膚科	眞田 麻子	専攻医
総合診療科	三好 俊太郎	内科一般、リウマチ膠原病
病理診断科	鶴田 裕真	外科病理学一般

▶ 転出

所属	氏名
麻酔科	相原 法昌
麻酔科	中西 智紀
新生児内科	浮田 栞
小児科	友松 佐和
小児科	吉松 佳祐
小児科	徳本 大起
小児外科	古賀 翔馬
腎臓内科	平田 隆
泌尿器科	市原 興基
泌尿器科	角陸 文哉
泌尿器科	信森 祥太
消化器内科	泉本 裕文
消化器内科	松岡 海南
消化器内科	松田 拓也
消化器内科	村川 和也
消化器外科	渡部 美弥
消化器外科	徳田 和憲
呼吸器内科	切土 博仁
血液内科	土居 優希
乳腺・内分泌外科	宇都宮 果歩
放射線科	窪田 光
放射線科	高門 政嘉
放射線科	岩野 祥子
放射線科	宇田 晃一郎
脳神経内科	京樂 格
脳神経外科	草川 あかり
脳神経外科	村山 健太郎
脳神経外科	金久 浩太
循環器内科	山口 宗祥
循環器内科	小林 侑司
整形外科	下野 雄大
眼科	森 優希
皮膚科	黒尾 優太



連携医療機関紹介 ～第38回～

医療法人社団 浦岡胃腸クリニック

- 所在地 松山市石手4丁目3-10
- TEL 089-932-1133 ■FAX 089-932-1134
- 診療科目 内視鏡内科・消化器内科 ■病床数 19床
- 外来診療時間 休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～13:00	○	○	○	○	○	○	×
15:00～18:00	○	○	○	×	○	×	×

前院長が急逝し、内視鏡検査数もピーク時の15,000件/年から半減し、「先生がんばりなさいや」と患者さんに励まされながら診療している今、エッ！原稿依頼？と思いつつペンを取っています。

【病院の概要・特徴】当院は内視鏡指導医⁽¹⁾の現院長と超音波指導医⁽²⁾の副院長を中心に、職員40名（看護師22名、診療放射線技師3名、臨床検査技師2名、医療事務8名他）の有床診療所です。現在、愛媛大学医学部附属病院消化器内科や消化器外科から医師を派遣していただき、常時3人体制で内視鏡ができる環境になっています。肝胆脾外科から義娘が応援に来てくれ、脾疾患の診療にあたっています。岸和田徳洲会病院で豊永高史医師の下ESDを学んだ二男が、毎週大阪から来て現院長の片腕となっています。三男を含む放射線科医2名がCTの読影を手伝ってくれています。今や消化管診断に、エコー、CTは欠かせないツールとなっています。血便や腹痛を訴え、不安な気持ちで当院を受診する患者さんに、その場で診断をつけてあげたい、故院長の基本理念です。現在もその理念を大切に診療しています。



- (1) 日本消化器内視鏡学会指導医
(2) 日本超音波医学会指導医

医療法人 はなみずき内科クリニック

- 所在地 松山市古川北2丁目9-33
- TEL 089-957-0074
- 診療科目 内科・呼吸器内科・消化器内科
- 外来診療時間 休診日 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30 (受付は12:20まで)	○	○	○	○	○	○	×
14:30～18:00 (受付は17:50まで)	○	○	×	○	○	×	×

【病院の概要】当院は2005年5月、はなみずき通り沿いに開業した内科クリニックです。外来診察が中心ですが、随時、各部位の超音波検査や消化管内視鏡検査も行っています。駐車場は第2も含めて15台駐車可能です。

【病院の特徴】はなみずき内科クリニックでは生活習慣病（高血圧症、脂質異常症、糖尿病）、呼吸器疾患（気管支喘息、肺気腫など）、消化器疾患（逆流性食道炎、ピロリ感染胃炎など）の診療を中心に内科全般領域にわたり適切な診療が提供できるよう努めております。精密検査や入院治療が必要な場合は県立中央病院などの基幹病院へ紹介させていただいております。今後も地域の皆様から信頼されるクリニックを目指しますのでよろしくお願いいたします。



当院は、2010年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随時ご紹介させていただきます。（紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。）

